

第68号

令和8年7月1日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

「洪水ハザードエリア」は確認しましたか？

五月十日、市と共催で、豊津地区防災訓練を実施しました。

市交通防災課の職員が洪水・土砂災害ハザードマップを広げ、豊津地区のほとんどが洪水ハザードエリアに位置付けられていること、浸水被害の時は豊津公民館と豊津小学校は避難所にならないこと、台地部に避難する際はがけ崩れ等に注意すること等の説明があり、参加者それぞれに『我が家のタイムライン』を作成しました。



後は、会場を移動して、和室で段ボールベットや避難テント・トイレテントの設営体験をしました。

駐車場では、茨城トヨタ鹿島店様の協力により電気自動車二台が展示され、災害時における電気自動車の活用等の説明がありました。また日本赤十字社鹿嶋市地区奉仕団により非常食(蒸しパン)の試食も用意され、参加者はいろいろな体験をすることができました。

残念ながら参加できなかった方に、洪水時の避難における三つのポイントをお教えします。

① どんな危険があるか

調べ、家族(近所の方)と話し合ひましょう

② 浸水が始まる前に避難しましょう

③ 安全に避難する方法を知っておきましょう

★洪水・土砂災害ハザードマップは、公民館の廊下に貼ってあります。ご確認ください。

♪ 参加者の声 ♪

○ハザードマップを見て、浸水想定区域がこんなに広いことにビックリした。(六十代・男性)

○あまり真剣に考えたことがなかったけど、話を聞いて勉強になった。(六十代・女性)

○自宅は浸水想定区域ではないが、念のために避難先を考えようと思った。(八十代・女性)

今年度もよろしくお願ひします

豊津地区まちづくり委員長 和田 勉



皆さま、日頃より、豊津地区のまちづくり活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在当地区では、少子化や過疎化などが進み大きな課題となっておりますが、私たちはその中でも知恵と工夫を重ね、「楽しいまちづくり」を合言葉に活動を続けております。

令和六年度には委員会二十年の活動をまとめた「豊津のあゆみ2」を発刊。昨年度の社会教育・公民館研究集会ではその活動について発表しました。

今後も広報活動を通じて地域の絆を見える形にし、家族や地域の笑顔と活力につながる活動を進めてまいります。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

令和八年度 公民館職員紹介

地域福祉推進委員制度終了により笹本委員が退職となりましたが、公民館職員は昨年度と変わりありません。引き続きよろしくお願ひします。



- 後方左から 藤枝主幹 沢畑館長
前列左から 石田主事 海老澤主事 茂木主事

情報発信専門部では Facebook、Instagram でも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。

(Facebook :URL、QRコードは2面 Instagram :URL、QRコードは4面)

鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)

# 第44回北浦一周サイクリング

**北浦をきれいに!と  
元気いっぱいサイクリング**

快晴に恵まれた五月三十日、今年度の「北浦一周サイクリング」を実施しました。本行事は、北浦浄化の大切さを地域に呼びかけながら走行する、長年続く豊津地区の恒例行事です。名称は「一周」となっていますが、安全面等を考慮し、実際には北浦の半周を走るコースで行っています。

当日は、豊津小学校の児童と保護者を中心に参加があり、沿道に向けた「北浦をきれいにしよう」というアナウンスと共に、爽やかな風を受けて元気にペダルをこぎ進めました。

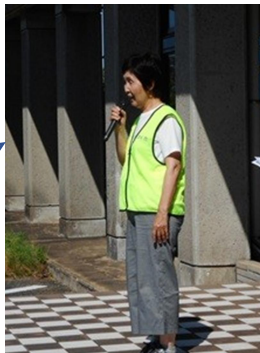
二年後に廃校が決まっている豊津小では、参加者が以前より少なくなってきましたが、その分、子どもたち一人一人の頑張りや笑顔がより印象的なサイクリングとなりました。

地域の自然に触れながら親子で汗を流し、環境への意識を高めるこの行事は、豊津地区の大切な伝統として受け継がれてきました。今後も、地域のつながりを育む活動として継続していきたいですね。



鹿嶋市交通安全母の会  
前会長 黒須 ゆき さん

道路交通法が改正され、自転車に対しても16歳以上の人が違反すると反則金の対象になった。  
違反することなく、安全運転をお願いします。



### 初めてのサイクリング参加 ご感想は？

のぼりがきつかったけど、たのしかった。



鹿島小1年(爪木)  
君和田 歩翔くん  
(あゆと)

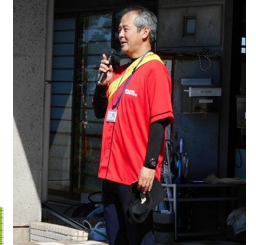


2週間前に練習し、お尻が痛くなることはわかっていました。  
先頭を走らせてもらったが、完走できて良かったです。

昨年参加した市村校長先生から「お尻が痛くなるから気を付けるように」と言われたが、その意味が良く分かりました。

保護者 市村 宗義さん (40代)

豊津小教頭 小島 剛史さん (50代)



交通安全支援  
バイク隊代表  
山町 重信さん  
(70代)

自分たちは何も特別なことはしていないが、子どもたちが元気に帰ってこられて良かった。来年も声がかかれれば、参加したい。ありがとうございました。

6年間完走賞  
豊津小6年女子  
君和田 心結  
(こころ)さん

6年間、この北浦一周サイクリングに参加して、北浦のことを良く知ることができて良かったです。



こうした状況下、市社会福祉協議会が令和七年度で、実質的にうららの事務局を担当していた地域福祉推進委員制度を終了することになりました。それに伴い、うららら会も令和七年度末をもって解散の運びとなりました。  
うららら会は解散してしまいましたが、活動で生まれた数えきれない笑顔は忘れられません。うららら会の理念は受け継がれ、各地区のサロンは地区の有志によって継続されています。  
二十余年に渡る活動、本当にありがとうございました。

うららら会の活動に癒され、地域に拠り所を見つけた方も多く、感謝の声がたくさん届いています。また、うららら会で活動された方も、地域に貢献しているというやりがいを感じられたのではないのでしょうか。  
しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染予防のため、人との密接な接触が禁じられ、各種イベントが実施できなくなりました。地域の繋がりが疎遠になり、孤立感が高まった時期です。その後コロナが五類感染症に移行し、うららら会もサロンの活動を再開しましたが、高齢者にとつてまだコロナは怖い存在で、その他の事業までは再開できませんでした。

今年三月、うららら会が惜しまれつつも、二十余年の活動に終止符を打ちました。  
うららら会は平成十七年度、地域の高齢者が元気で明るく、かつ安心して暮らせるよう活動するボランティア団体として発足しました。  
お食事会、クリスマス会、日帰り旅行といった地域や世代間の交流を図るイベントの開催、新田、大船津、爪木の地域ごとに定期的に開催したサロンは、そこに行けば誰かに会えるという、心の拠り所でした。  
その活動が評価され、茨城県福祉大会で県社協会長賞を受賞したこともあります。

これまでありがとう  
お世話になりました

うららら会 解散



# 楽学セミナー

6月6日(土)

昨年度、都合により中止となってしまった楽学セミナー「ビーズアクセサリー作り」に再挑戦しました。(参加者10人)

講師の荒原貴子さん(行方市在住)とアシスタントの正木(旧姓:成毛)和子さんの親切で丁寧な指導の下、目を細めたり、手の震えを抑えたりしながら、みんな素敵なビーズネックレスを作ることができました。



### ☆ 参加者の感想 ☆

・近所の友人を誘って参加しました。和気あいあい楽しくビーズネックレス作りができました。(青野昭子さん)

・作り方はシンプルですが、細かい素材の扱いに悪戦苦闘しました。ありがとうございます。(黒須ゆきさん)



※次回の楽学セミナーは、12月10日(木)に「コーヒーセミナー」を開催する予定です!

豊津では初めての開催となりますが、他の公民館では人気のある事業です。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしています。



(写真上)講師のアドバイスを受けながら、手元の作業に集中 (写真下)できあがった作品を着装してハイポーズ!

# 高齢者スポーツ大会

5月26日(火)



今年度から春の部1回で、主催もまちづくり委員会単独となりました。種目は変わらず、グラウンドゴルフと輪投げの2種目。66歳から90歳までの参加者が気持ちよく汗を流しました。

競技結果は、以下のとおりです。

### ● グラウンドゴルフの部 参加: 18人

- 優勝 坂本 好子さん 2位 大川 和子さん
- 3位 笹本 キヨ子さん \*ホルンの賞 青野 重寿さん

優勝は良い天気とパートナー皆さんのおかげです。(坂本さん)



### ● 輪投げの部 参加: 20人

- 優勝 柏葉 秋穂さん 2位 君和田 美智子さん
- 3位 藤枝 定夫さん

1投目は10点以下と上手くできなかったが、投げ方を工夫して2、3回目は良くなりました。(柏葉さん)



(まちづくり委員感想)

高齢者スポーツ大会取材して、久しぶりに皆さんの元気な姿を拝見して安堵しました。スポーツを通して、体を動かすことが健康面でも長生きの秘訣です。来年は、私も選手として参加したいと思います。

☆☆☆ つぶやき ☆☆☆

仏教には「自利他利」という言葉があります。現代では「自利他利」とも呼ばれ、自分と他人のどちらの幸せも大切にするという意味です。ボランティアや地域の活動に参加していると、誰かの役に立って嬉しさの中で、実は自分自身が一番元気をもらっていることに気づかされます。他者を思いやる行動は、巡り巡って自分の心を豊かにしてくれるのですね。

お互いに「おかげさま」と言い合える支えあいの輪を、これからも広げていきたいものです。このつぶやきが、皆さまのつながりを深める小さなきっかけになれば嬉しく思います。(N)

分別講習も実施されています。今年度の二回目は、十月に実施予定です。近くなりましたら「かわら版 そよかぜ」で案内しますので、多くの方の参加をお願いします。



▲今回回収されたゴミ(左)と大船津第三区の様子(右)

私たちのとよつをきれいに!

五月十日、「豊津クリーン」を実施しました。この豊津クリーン、すっかり地域の皆様に定着しましたが、市で行う市内環境美化運動(一斉清掃)とは別に、自分たちの住む豊津地区をきれいにしようと思ったものです。何年から始まったかの確認はできませんでしたが、豊津地区まちづくり委員会十周年記念誌を見ると、平成十六年度には既に実施されており、十六年度にはなんと七回実施したと記載されています。内容は、堤防・道路の缶拾いや地域内のゴミ拾い、不法投棄の粗大ゴミ回収、そして平成二十三年度にはゴミ分別講習も実施されています。

URL

Instagram (インスタグラム)

URL : <https://www.instagram.com/toyotsukouminkan>

QRコード Instagram

